

ぽっぷ通信

発行：NPO法人 障害者生活支援センター インみたか
三鷹市 障がい者地域自立生活支援センターぽっぷ
〒181-0013 三鷹市下連雀4-15-18-2F
TEL 0422-71-0901 FAX 0422-26-5141
発行日 平成24年2月1日



メールアドレス

poppu@dream.ocn.ne.jp No. 25

ホームページ

<http://www6.ocn.ne.jp/~poppu/>



遅れて登場です

ぽっぷ職員 南雲 潤

皆さんこんにちは。支援センターぽっぷの南雲潤です。ピンク色の自立ちすぎる手動車椅子に乗っている男性スタッフです。私の頼りない記憶が確かならば、ぽっぷ通信の巻頭記事を書くのは初めてだと思います。事務所開設当初から関わっているのに遅れて登場です。よろしくお願ひします。

実は、私がスタッフとして関わり始めた頃、まだ実家で家族と住んでいました。「一人暮らし」だけが自立生活の考え方ではないとは思いますが正直、心苦しかったのを感じています。そんな私が今年の3月で一人暮らしを始めてから6年が経過しようとしています。多くの人達に支えられながらここまで来る事が出来ました。

生まれてから小学校に入学するまでが6年間、入学してから卒業するまでも同じ期間です。自分自身に「よく頑張った」という訳ではありませんが、感慨深いものがあります。ポケットに紙を入れたまま洗濯をする。電気を一度に使いすぎてブレーカーを落とす。そんなエピソードは数知れません。食事についてもレトルト食品やスーパーのお惣菜はかかせません。そんな私ですがやっと「障がいを持ちながら地域で暮らしています」と周囲に言えるかなという気持ちになりました。

話は変わって、車椅子の乗り方や自分自身の暮らし方を伝えるため地域の小学校に呼ばれて行く事があります。この間、三鷹駅近くの学校に行きました。授業を終える時「どこかで会ったら気軽に声をかけて下さい」と話して別れました。これまではあまり無かったのですが今回はお互いの居住地が近いせいか、事務所の帰りにヘルパーと買い物をしていると驚くほど声がかかります。名前前で呼んでくれる人や「あの時の人だあ」の時もあります。とても嬉しいです。皆さんも事務所にお立ち寄りの際や、街中で自立ちすぎる車椅子を見かけたら声をかけてください。時間の許す限り相談に乗ったりお話が出来ればと思っています。



だいせいきょう

かい

大盛況だったクリスマス会



ぽっぷしよくいん職員 わだ和田 みゆきみゆき



まいとしこうれい かい毎年恒例となったぽっぷのクリスマス会。

こんかい れいねん だいごうか今回は例年よりさらにパワーアップし、大豪華
にだい よ二大ゲストを呼んじゃいました。

まずは、とうだい東大のジャグリングサークル「マラ
バリスタ」のパフォーマンス。めい4名のイケメン
(!!)パフォーマーが、とくい得意のジャグリングを
ひろう まえ せき すわ ひと披露。前の席に座っていた人たちは、ヒヤリ!?

としたしゅんかん瞬間もありましたが、はくねつ白熱したパフォー
マンスに、め くぎづ目が釘付け

さんかしゃ おんな こ なか おも ひと参加者の女の子たちの中には、思わずサインをせがむ人も!

そのあと、たんとうしよくいん うたはら しかい もフリースペース担当職員・歌原の司会によるレクリエーションで盛

あ さいご ゆうきな お な お ちからつよ うたごえ かんり上がり、最後は佑記奈桜さんによるミニライブ!! 奈桜さんの力強い歌声に感

どう ま おも き うた動。みんなも負けずにクリスマスソングを思い切り歌い、フィナーレはみんなで

わ さんかしゃぜんいん いったいかん こ こち しゅんかん こんかい けいしょく輪になり、参加者全員の一体感が心地よい瞬間となりました。今回、軽食をに

かい ねが つくじの会さんをお願いしたところ、オリジナルのローストチキンサンドを作ってくださいました。こ

ぜっぴん あじ ひとくちた つぎつぎ こえ しきくひんれが絶品の味で一口食べたとたん次々に「おいしい!」との声が! 試作品とのことですが、ぜひ

しょうひんか おも ほんとう たの ま じかん らいねん商品化してほしいと思います。本当に楽しくて、あっという間の2時間でしたね。また来年どんな

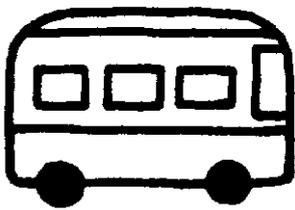
クリスマス会になるかこうご期待!!リクエストがあれば、ぽっぷ職員まで☆





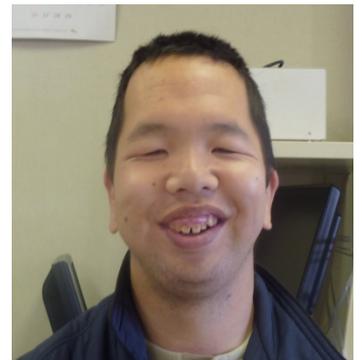
りようしゃ
 ぽっぷ利用者さんのマイフェイバリット(おすすめ)

よしだ けいいち たび
 吉田敬一さんの 旅のすすめ



ぼく りよこう しゅみ はたち ころ いま かいじょう りよこう
 僕は旅行が趣味です。20歳の頃から今まで50~60回以上は旅行しています。
 い あたりばったりの きままな ひとりたび はじ い おおさか な ご や
 行き当たりばったりの気ままな一人旅です。初めて行ったのは大阪・名古屋。
 せいしゅん つか にはく さいしょ ふあん
 青春18きっぷを使って二泊しました。最初は不安なところもありましたが、
 だんだん 慣れてきて、徐々に日にちを増やし、今は5~6日かけてなるべく遠
 いところに行くように計画を立てています。

いま いちばん ばしょ ほっかいどう い がつ
 今までで一番よかった場所は北海道です。フェリーで行きました。5月
 ころ でしたが、まだ山に雪が残っていて、景色が美しかった。札幌のラ
 ーメンもおいしかったです。

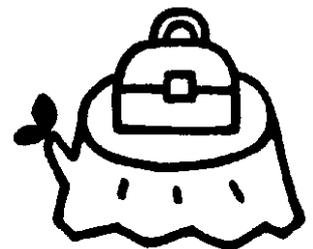


と 泊まる場所は、インターネットカフェを利用したりして旅費を安く
 しています。僕の障がい者手帳だと100km以上は鉄道は半額になるし、
 びじゅつかん はくぶつかん むりょう おお わりびき りよこう
 美術館、博物館は無料になるところが多いので、そんな割引も利用して
 います。

い 行ったことのない土地の方言、風土、環境の違いにふれることはとてもおもしろいです。たと
 えば、大阪はエスカレーターに乗った時、右に立つんです。東京は左ですね。そんないろんな
 ちが い あ 違いを行き当たりばったりで発見する。それがおもしろい。

ぜんこく い ひと いちばんしんせつ
 全国、ほとんどのところは行っていますが、人が一番親切だったのは
 ほっかいどう かた みち たず しんせつ おし
 北海道の方でした。道を尋ねると、とても親切に教えてくれました。

さいしょ ぼく ふあん おも みな
 最初は僕のように不安に思うかもしれませんが、皆さんにもぜひいろ
 んなところにでかけてほしいなと思います。





みたか街かど自立センターに通っている

かばしま ごうし がつ か ほん しゅっぱん
椀島 剛之さん(かばさん)が、2月4日に本を出版します!

「カバの Oh! あくび」

まち くるま いす ぼく で あ ひとひと
- 街かどで車椅子の僕が出逢った人々

はんか えん ぜいこみ
- 頒価1500円(税込)



まち じりつ かよ かばしま ねんかん か へん およ き どあいらく
街かど自立センターに通っている椀島さんが12年間書きためてきた157篇に及ぶ喜怒哀楽のエッセイを出版されました。ここにその一部をご紹介します。

かばさんの、おもしろくて鋭い視点が楽しめる一冊。

たくさんの人にこの楽しさを味わってもらいたい! ぽっぷも応援します!!



カバの Oh! あくび 「容疑者になった?僕」

まち じりつ きかんし ごう
(みたか街かど自立センター機関紙フリーリング 67号より)

僕がエレベーターに乗った時、ベビーカー(昔は乳母車とっていたが)と一緒に乗ることが多い。狭い空間で、なおかつ僕の視線が低いので、子供と目が合う。すると、不思議そうな顔をするので、僕はそれに応えるように話しかけると、大抵は笑ってくれるのだが、時には半べそをかいてしまう子供もいる。

この前、ある勉強会の帰り、甲州街道を歩いていると、後ろから声を掛けられた。振り向くと警官だった。

「ちょっと、お話、聞かせてもらっていいですか。お散歩ですか?」と、言われたので、僕は瞬間(こんな、うす暗くなってきている時間に、狭い歩道を散歩している訳がない)と思いながら「いえ、仕事帰りです」と答えた。すると「飲んでますか?」と、聞かれたので「なぜですか?」と、聞き返すと「言葉が聞き取りにくかったの」と言われた。僕はムツとして「これは私の障害で、言語障害なんです」と言った。次に割と強い口調で、名前と住所を教えてください、と言われたので「訳を教えてください」と、聞いたら「この周辺で、車椅子に乗った人に小学生が怖い思いをさせられた、という通報があったので、この周辺をパトロールしているんですよ」と、言う事だった。

『まるで、職務質問?僕、容疑者?』何があったかは知らないが、車椅子に乗った人を探しているのであれば、僕も確かに車椅子に乗っているの、職務質問を行うのは間違っていない。が、僕の発音がおかしかったから「飲んでいないんじゃないの?」と、間違えられ、さらに、まるで、犯人みたいな口調で名前を聞くとはい...この間、約十五分、街はすっかり暗くなっていった。

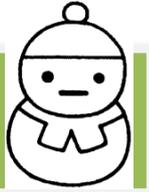
車椅子の人だって、時には酒を飲む事ってあるんだ・・よーね。

気付けば、警官に僕は名前を教えたが、警官の名前は聞いていなかったの、別れ際に『名前と所属課』を、聞かせてもらった。あっ、僕も子供に名前を聞いて置いて、自分は言っていなかったな。でも、それとこれとは、次元が違うよなー。

◆お問い合わせは
みたか街かど自立センター
まで
電話0422-48-0648



シリーズ「父の病気がつなげた家族の絆」



きゆうえんぶつし

その⑤ 救 援 物 資

みやぎ とわこ
宮城 永久子

3・11。あの大地震が起こる数日前、父から連絡があった。
「小さながんが一つ残っていたみたい。今は、元気だから、治療が始まる前に、ちょっと永久子の元気な顔を見ておこうと思う。あさっての水曜日、急で悪いが、そっちに行っていていいか」
ホント、急だよ！ と思った。

その日、私は仕事は休みだったが、他に予定があった。でも、その一方で、父が死期を感じ、娘に挨拶を……。
脳裏をかすめた。

父は、悪性リンパ腫という血液の癌を克服し、医者から寛解を告げられた。家族一同は、その事実にと胸をなで下ろし、父は長い長い千葉での入院生活を終えていた。

なのに…



「うん、わかった」イヤな胸騒ぎがした。

そして、水曜日。両親が怒濤のごとく、現れた。わざわざ愛知から、大量の荷物を持って。レトルトカレー、米、カップラーメン、お菓子、トイレトペーパー…。

「こっちでも買えるのに…」
父が元気なうちは、私も少しだけ両親のボケ防止に貢献しているような気でいた。しかし、父が体患ってからは、もう以前のような配給は望めない。当たり前のことだけど、そう諦めていた。

ヘルパーに手伝ってもらい、我が家に運ばれた大量の配給品を、それぞれの棚に収納していく作業に、約一時間かかった。

ふう～、嵐が去るように、両親が帰っていき、我が家の復旧作業を終え、私は一息ついていた。

地震が起きたのは、その二日後。スーパーから、物が消えた。食糧不足を心配した人たちが買い占めに走ったのだ。私自身も、連日、震災による暗いニュースばかりで、時折、気持ちが、ふさぎ込んだ。

買い物に行く気になれず、しばらく両親が持ってきた大量の食料を食べて、数日間を凌いで過ごした。まるで、東京で暮らす娘の危機的状況を予知したかのような出来事だった。

ちなみに、父は……元気だ。

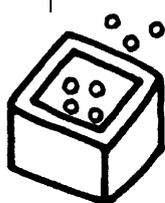
……………つづく。



ぽっぷ・かけはし共催
夕食会のお知らせ

2/17(金) 18:30~20:00

お弁当を持ちより、みんなで食事をします。
食事をしながら、
みんなとおしゃべりしてみませんか？



申し込み ぽっぷ 0422-71-0901
担当 宮城・金子

2月・3月のフリースペースは

みんなでいっしょにゲームで遊んだあと、お菓子を食べます。いろんな方の参加をお待ちしています！

2/25・3/10(土)

- 場所 下連雀地区公会堂
- 時間 13:30~15:30
- 会費 300円
- 問い合わせ/ぽっぷ
- 南雲・歌原(0422-71-0901)



次回のランチタイムは

3月24日(土)

11:00-13:30になります。

場所 駅前コミセン 調理室

メニューは

炊き込みごはん、すまし汁、餃子、
フルーツです

問い合わせ/ぽっぷ担当 宮城・篠崎
(0422-71-0901)



無料法律相談

障がい当事者ならどなたでもご利用できます。

お気軽にお問い合わせください。

◆開催日 2月18日(土)(15:00)

◆相談時間 1件につき40分

◆場所 ぽっぷ

予約制となりますので、お電話でお申し込みください。

★ぽっぷ担当：南雲・合田
0422-71-0901



ぽっぷくのはな

地球温暖化というものの、例年に比べ、今年の冬は寒いような…気がする。
寒さが苦手な人たちにとっては、この季節はまさに修行のような毎日。加えて、世間では「節電、節電」と声高に呼びかけている。原発事故の影響で、電力が足りなくなっているから、電気を大切に使うなければならないのはよくわかっているが、寒いものは寒い。
日本には、昔から伝わる防寒グッズとして“湯たんぽ”がある。かつては、亀の甲羅のようなアルミ製の容器にお湯を入れて使うものだったが、それが数年前からレンジでチンする湯たんぽが発売されたり、今は充電式のものまで開発されている。
まだまだ厳しい寒さは続く模様。環境に優しい防寒グッズをうまく活用したり、重ね着をしたりして、上手にこの冬を乗り切っていきましょう。

あっ、ちょっと、宮城さん！「正月太り」を「着ぶくれ」と言い換えるのは、やめましょうね。

